

決算のお知らせと 今後の対応について

7月17日開催の組合会で平成30年度決算が承認され、今後の健康保険料率等に関して議論されましたので、概要をお知らせします。

決算の概要

① 健康保険の決算

健康保険の料率

健康保険の料率は、高齢者医療制度への負担金（以下、納付金）などの増大に対応するため、平成23～25年度に通算20%の引き上げを実施、78%としてから5年間据え置いています。

経常収入

経常収入は、保険料収入が保険料を負担する被保険者数の増加により137.3億円と前年度比1.1億円増加したため、その他の収入と合わせて137.5億円と前年度比1.0億円増加しました。

経常支出

経常支出は、保険給付費の増加により138.4億円と前年度比0.8億円

増加しました。

なお、内訳は次のとおりです。

- ① 健保組合を運営するための事務費は、0.7億円と前年度と同じ水準になりました。
- ② 保険給付費は、総額64.7億円と前年度比2.9億円（+4.7%）増加し、被保険者1人当たりの給付費についても前年度比3.8%増加しました。
- ③ 納付金は、総額63.6億円と前年度比2.2億円（▲3.4%）減少しました。前期高齢者（65～74歳）納付金は26.2億円と前年度比0.8億円減少、後期高齢者（75歳以上）支援金は37.1億円と前年度比0.4億円増加、退職者給付拠出金は0.3億円と前年度比1.8億円減少しました。納付金の負担は、高齢者医療制度が開始された平成20年度に比べると27.5億円も増加しています。また、平成30年度の保険料収入に対する割合は46.3%であり、健保組合の財政

にとって大きな負担になっています。

④ 各健保組合の独自事業である保健事業費は、総額9.4億円と前年度比0.1億円増加しました。当健保組合は従来から健診等の疾病予防事業に資源を集中しており、特定健診・特定保健指導、データヘルズ計画について着実に取組みを推進しました。

経常収支および総合収支

経常収入から経常支出を差し引いた経常収支は、前年度に比べ0.2億円改善したものの▲0.9億円の赤字となりました。

経常収支に経常外収支を加算した総合収支（別途積立金の繰入を除く）は、1.9億円の赤字となりました。

内部留保

総合収支の決算残金は、所要の繰越処理を行い、残額を繰越剰余金となる「別途積立金」として積み立てました。

この結果、「法定準備金」が27.8億円（前年度と同額）、「別途積立金」が39.0億円（前年度比1.9億円増加）となりました。

② 介護保険の決算

介護保険は、保険料率を13.2%のまま据え置きとしました。

保険料収入は15.8億円と前年度比0.2億円増加ではば横ばいとなりましたが、納付金は16.6億円と前年度比1.2億円増加したため、収支差額は▲0.8億円の赤字となりました。

このため、「介護準備金」の期末残高

は1.3億円と前年度比0.8億円減少しました。

今後の対応について

① 健康保険の対応

健康保険の主要な支出項目である納付金や保険給付費は、高齢化や先端医療の高度化も背景に、増加傾向は避けられない状況になっています。

このため、健康保険の料率については、今後引き上げを行わざるを得ない状況に変わりありませんが、引き上げの時期および引き上げ幅については、諸情勢を的確に把握し、内部留保の活用も勘案するなどの検討を進めてまいります。

② 介護保険の対応

介護保険は令和2年度には納付金の算出方法が「3/4総報酬割」から「100%総報酬割」に変更されるため、さらに負担が増加する見込みです。このため、現時点では令和2年度に料率を引き上げることが避けられない見通しとなっていますが、今後の対応について引き続き慎重に検討を進めてまいります。

今後も納付金の負担増や医療費の増加など、健保組合にとって厳しい環境が続くものと思われれます。健康保険、介護保険とも適切に納得感のある料率水準となるよう検討していきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

禁煙のススメ

今年7月1日から 学校・病院・行政施設などが禁煙に!

2018年7月に成立した健康増進法改正により、今年7月からたばこによる健康への影響が大きい子どもや病気の人に配慮し、学校や病院、児童福祉施設、行政施設などが「敷地内禁煙」となりました。さらに、来年4月からは、飲食店を含むほとんどの施設が原則、屋内禁煙となり、受動喫煙防止に向けた取り組みが本格化します。

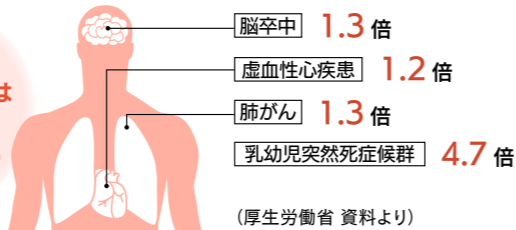
※自治体によって受動喫煙に関する独自の条例を設けている場合があります。

受動喫煙の実情

受動喫煙による健康被害

年間約15,000人が受動喫煙により死亡しているほか、受動喫煙にかかわる医療費は年間約3,200億円ともいわれています。

受動喫煙を受けている人は
病気になる
リスクが高い



大切な人を守るためにも

禁煙にチャレンジしましょう

禁煙プログラム asCure (アスキュア) のご紹介

- ▶ ICT（専用アプリ）を使用した禁煙プログラム
- ▶ 6カ月の長期プログラム。指導は1回目からオンライン（スマホ等）で対応可能なため、通院は不要、土曜日でも受付可で20時まで対応可なので、平日・日中忙しい方も指導が受けやすい。

卒煙した方には、
健保組合から
10,000円補助
いたします!

お問い合わせ
先は...

三井住友海上健康保険組合 伊藤
〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9
電話 03-3259-1524 (内線 8-301-31988)

または 株式会社キュア・アップ アスキュア サポートセンター
Eメール asure@cureapp.jp

健康保険・組合状況

年度	平成29年度	平成30年度	増減
健康保険料率	78.0/1000	78.0/1000	—
被保険者数(3月末)	26,691人	26,970人	279人
被扶養者数(3月末)	19,808人	19,133人	▲675人
扶養率	0.74人	0.71人	▲0.03人
被保険者平均年齢	42.68歳	42.93歳	+0.25歳
平均標準報酬月額	395,425円	396,499円	1,074円

健康保険・経常収支差引額と内部留保残高の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度見込
経常収支差引額	4.7	0.8	7.6	▲1.0	▲0.9	▲5.1
＜内部留保＞						
法定準備金残高	27.8	27.8	27.8	27.8	27.8	27.8
別途積立金残高	24.2	26.8	35.8	37.2	39.0	35.8

介護保険・収支（前年度比較）

	平成29年度実績①	平成30年度実績②	増加額②-①	増加率②/①
保険料率	13.2%	13.2%	0.0%	0.0
(+) 保険料収入	15.6	15.8	0.2	1.1
(-) 納付金	15.3	16.6	1.2	7.9
収支差額	0.3	▲0.8	▲1.0	—
介護準備金	2.1	1.3	▲0.8	▲37.1

健康保険・収支（前年度比較）

主要項目	平成29年度	平成30年度	対前年度増減額	対前年度増減率	令和元年度見込
(+) 保険料 (保険料率)	136.2 (78.0%)	137.3 (78.0%)	1.1 (0.0%)	0.8 (0.0)	138.0 (78.0%)
経常収入	136.5	137.5	1.0	0.7	138.3
(-) 事務費	0.7	0.7	▲0.0	▲1.9	0.8
(-) 保険給付費 (被保険者1人当たり：千円)	61.8 (230.7)	64.7 (239.6)	2.9 (8.9)	4.7 (3.8)	67.0 (246.7)
(-) 納付金 (拠出金)	65.8	63.6	▲2.2	▲3.4	65.9
(前期高齢者納付金)	(27.0)	(26.2)	(▲0.8)	(▲2.9)	(27.7)
(後期高齢者支援金)	(36.7)	(37.1)	(0.4)	(1.0)	(38.3)
(退職者給付拠出金)	(2.1)	(0.3)	(▲1.8)	(▲84.8)	(0.0)
(-) 保健事業費	9.2	9.4	0.1	1.4	9.6
経常支出	137.6	138.4	0.8	0.6	143.4
経常収支	▲1.0	▲0.9	0.2	-	▲5.1

＜経常外収支＞

(+) ①別途積立金繰入	12.0	13.0	1.0	8.3	15.0
(+) 財政調整事業交付金	1.4	2.1	0.7	48.9	1.4
(+) 高齢者医療助成金他	1.0	0.7	▲0.3	▲30.0	0.6

総合収支	13.3	14.9	1.6	11.7	11.8
総合収支 (除①別積繰入)	1.3	1.9	0.6	42.0	▲3.2